

令和4年4月から
スタート！

第六次鹿児島市総合計画



都市像

総合計画では、令和13年度までの計画期間内で目指す将来のまちの姿として、次の都市像を掲げています。

つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま

これからの10年、人口減少等の環境変化に的確に対応し、
将来にわたり持続可能なまちをつくりあげていくために・・・



市民 事業者 鹿児島に想いを寄せる人 関わりのある団体など

さまざまな交流を通じ、相互の“**つながり**”を深めることにより、
新たな価値が生まれ、多彩な人材やまちの魅力が豊かな“**彩り**”となる、
人もまちも“**躍動**”する鹿児島市を目指していきます。

地域でのふれあいや
支えあいも大切だね



そもそも...
総合計画って
なに？



総合計画は、鹿児島市を将来
どのようなまちにしていくの
か、そのためにどのようなこ
とをするのか、その方向性な
どを定めた計画です。

 **基本構想**

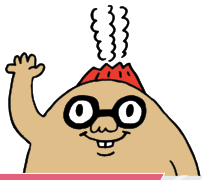
まちづくりの最高理念
都市像と基本目標
10年間 令和4年度～13年度

 **基本計画**

施策の基本的な方向や体系
5年間 前期：令和4年度～8年度
後期：令和9年度～13年度

 **実施計画**

施策を実現するため実施する事業
3年間 1～4期



総合計画は、次のような時代の潮流や鹿児島市の特性、将来の人口や財政状況の推計などを踏まえています。

時代の潮流

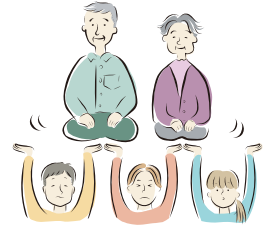
新型コロナ ウイルス感染症 拡大による 社会の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う甚大な影響は、地球規模で社会、経済、さらには人々の行動や価値観などあらゆる面に波及し、長年にわたり、大きくその影響を受けることが予想されています。



感染症拡大への対応と社会経済活動の両立が必要だね。

人口減少・ 少子高齢化 の進行



我が国の人口減少は、今後、加速度的に進むとされており、労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を与えることが懸念されています。

グローバル化・ ICT^{※1}の 進展

グローバル化が一層進展し、世界規模で社会的・経済的な結びつきが深まっています。

また、IoT^{※2}、AI^{※3}、ビッグデータ^{※4}など技術革新が進む中、デジタル技術の活用が、今後さらに社会全体へ広がることが予想されています。



地球規模 での 環境問題の 深刻化

温暖化による世界的な気候変動や生物多様性の損失など地球環境問題は、地球上の生物すべてに危機的な状況を生じさせています。

脱炭素社会に向けた取組を進めるとともに、環境への負荷を低減する循環型社会づくりを進めていくことが求められています。

安心・ 安全を脅かす リスクの 高まり

集中豪雨や台風に加え、巨大地震や火山噴火の懸念、新たな感染症の流行などにより、安心・安全な暮らしを脅かすリスクが高まっています。

行政や市民、事業者などがそれぞれの役割を認識しながら、相互に連携して、都市の安全性を高めていくことが求められています。

価値観の 変化・ 多様化

就業構造や家族形態の変化、“人生100年時代”と言われる長寿命化に加え、地方回帰の機運など、人々の価値観やライフスタイルの多様化がさらに進んでいます。



多様な価値観を認め合うこと、ワーク・ライフ・バランス^{※5}を大切にすること、とても重要なことだね。

※1 ICT：情報通信技術のこと

※2 IoT：自動車や家電など、モノとインターネット経由で通信すること

※3 AI：人間の知能が持つ役割をコンピュータで実現する技術のこと

※4 ビッグデータ：インターネット上で収集・分析できる膨大なデータのこと

※5 ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和のこと

鹿児島市の特性

国内外につながる交通の広域拠点

新幹線の南の発着点である鹿児島中央駅をはじめ、九州をつなぐ高速交通網、鹿児島港、マリポートかごしま、本市と短時間で結ばれる鹿児島空港など、国内外とのダイナミックな交流を支える基盤が備わっています。



こういった特性を
生かしながら、
まちづくりを進
めていこう！



多彩な自然資源と都市機能の集積

雄大な桜島と波静かな錦江湾という世界的にも稀有な自然環境をはじめ、多様な生き物が棲む自然環境、ウォーターフロント、まちなかの温泉などの多彩な自然資源と、業務・商業機能などの都市機能が集積した魅力ある都市空間がつくられています。

世界に誇りうる魅力ある歴史や文化

島津氏の城下町として発展し、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産を有するなど、世界に誇りうる個性にあふれた歴史と文化が築かれています。

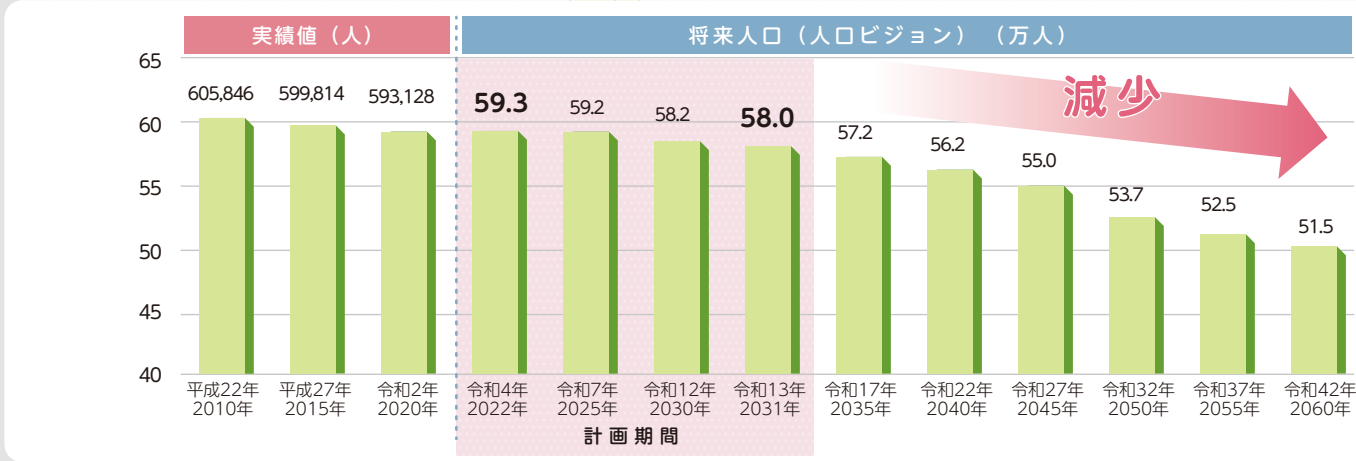


温かみのある人柄と助け合いの風土

思いやりや連帯感を培った郷中教育が郷土の偉人を育ててきた歴史を持つなど、温かみにあふれる市民性や支え合い・助け合いを大事にする風土があります。

鹿児島市の将来の人口や財政はどうなっていくのかな？

○本市将来人口の展望

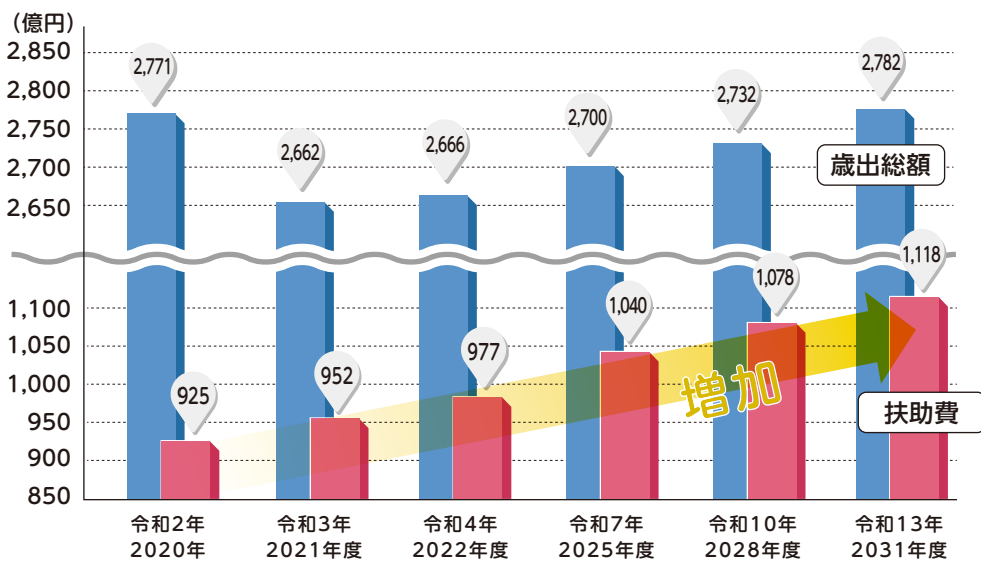
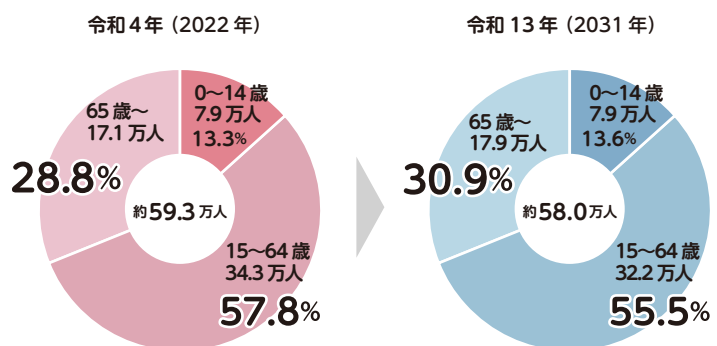


2060年に「人口51.5万人」維持を目指しているよ！

本市の人口は、令和2年（2020年）の国勢調査では593,128人となっています。人口減少が進む中、令和13年（2031年）に人口58万人を維持することとしています。

○年齢3区分別人口構成

生産年齢人口（15～64歳）は減少する一方、老年人口（65歳～）は増加する見込みとなっており、少ない現役世代で多くの高齢者世代を支えるという構造がさらに強まることが予想されます。



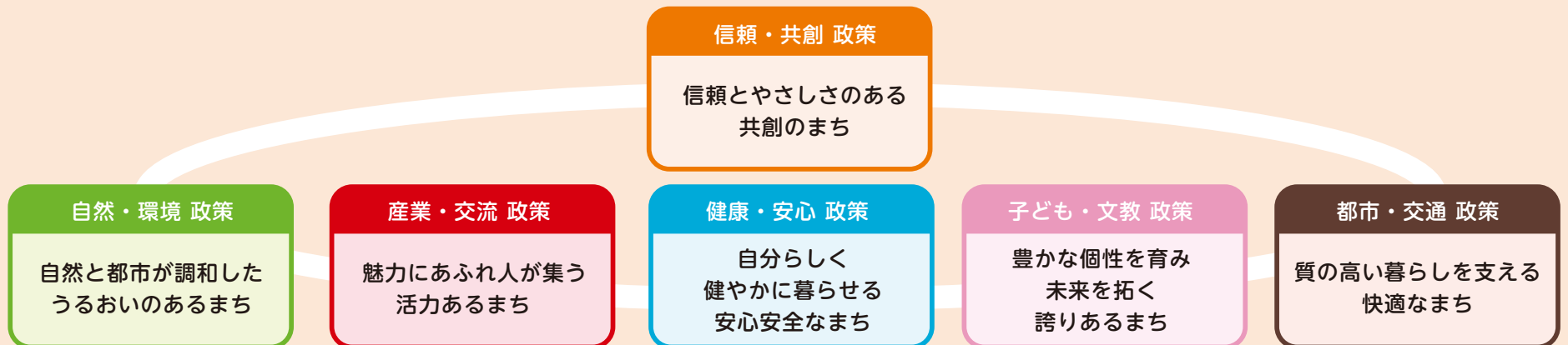
○本市の一般会計歳出総額と扶助費の将来推計

少子高齢化などにより、今後も子育て支援や生活保護費など、福祉や医療に係る費用である扶助費が増加していくものと見込まれています。

扶助費の割合がどんどん増えていってるね。より効率的な財政運営が必要だよ！

基本目標

都市像を実現していくために、これら6つの基本目標を基に、さまざまな取組を進めていきます。



次のページから、基本目標ごとに、主な取組などを紹介します！



みんなでこのようなまちを目指していこう！

※詳しくは基本目標ごとのQRコードから、市ホームページでご確認いただけます。

詳しくはコチラ



1 信頼とやさしさのある 共創のまち

信頼・共創 政策



市民や地域団体、大学、事業者、行政など多様な主体が協働・連携し、新しい価値をともに創るまちづくりを進めるとともに、健全な財政を維持し、効率的で質の高い行政サービスを展開します。

国内外の都市との連携や交流を進めるとともに、効果的な情報発信やシビックプライド^{※1}の醸成などにより、まちの魅力を磨き高め、広めます。

性別や年齢、国籍などに関係なく、一人ひとりの人権や多様性が尊重され、個性と能力を発揮できる地域社会を築きます。

このようなことに取り組みます！

1 地域社会を支える協働・連携の推進

- ・市民の声を聴く機会の充実
- ・地域コミュニティ協議会・町内会の活動支援



地域コミュニティ協議会の活動

2 自主的・自立的な行財政運営の推進

- ・ホームページやSNSによる効果的な情報発信
- ・官民連携による課題解決
- ・ふるさと納税の推進
- ・情報リテラシー^{※2}の向上

3 多角的な連携・交流の推進

- ・大学の特色を生かした共同研究・連携による各種施策の実施
- ・国際交流センターを中心とした交流機会の創出

4 シティプロモーションの推進

- ・官民一体となったシティプロモーションの推進
- ・国内外への魅力発信
- ・地域資源の体験機会の提供、関係人口^{※3}ネットワークの構築
- ・移住支援制度の整備・拡充

5 誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の形成

- ・多様化する人権問題への対応
- ・女性活躍推進と男性の家庭生活への参画促進、DVの予防啓発
- ・国際相互理解の推進
- ・平和都市宣言の趣旨啓発等



人権街頭啓発

※1 シビックプライド：まちに誇りを抱き、よりよいまちにするためにまちづくりなどに積極的に関わろうとする意識のこと
 ※2 情報リテラシー：情報機器の操作能力に加えて、情報を取り扱う上での理解や情報収集能力と意欲のこと
 ※3 関係人口：移住や観光、単なる帰省ではなく、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域に継続的に多様な形で関わる人のこと

2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち 自然・環境 政策

詳しくはコチラ



CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの地産地消、省エネルギーなどの環境に配慮した生活スタイルへの転換を進め、市民みんなでゼロカーボンシティ^{※1}かごしまの実現を目指します。

3Rの推進によるごみの減量化・資源化や適正な処理を進め、資源が循環する地域社会を築きます。

生物多様性の保全・活用や水と緑豊かな美しいまちづくりに取り組み、人と自然が共生し、うるおいと安らぎを感じられる環境を整えます。

このようなことに取り組みます！

1 ゼロカーボンシティかごしまの推進

- ・電気自動車等の市民・事業者への導入支援
- ・地域新電力等との連携、バイオガス^{※2}の地産地消
- ・シェアリング・エコノミー^{※3}の普及促進



かごりん

2 循環型社会の構築

- ・ワンウェイプラスチック^{※4}の排出抑制等
- ・効率的な収集・運搬の推進、高齢化の進行等に伴う支援
- ・南部清掃工場（バイオガス施設・高効率発電施設）の運営

3 人と自然が共生する都市環境の構築

- ・水辺、森林などとのふれあいの機会の創出
- ・武岡公園の緑地保全と整備
- ・民有地等の借上げなどによる公園の整備



生きもの調査

4 生活環境の向上

- ・アスベスト対策の推進
- ・市民活動団体が行う美化活動への支援、地域猫活動等の促進
- ・合葬墓^{※5}の施設整備及び維持管理

※1 ゼロカーボンシティ：2050年までにCO₂の排出量実質ゼロを目指す自治体のこと
 ※2 バイオガス：生ごみ・紙ごみ等を微生物の働きによって発酵させて発生する可燃性ガスのこと
 ※3 シェアリング・エコノミー：有形・無形の資源を貸し出し、利用者と共有する新たな経済の動きのこと

※4 ワンウェイプラスチック：通常、一度使用した後にその役目を終える、使い捨てプラスチックのこと
 ※5 合葬墓：広く共同で使用できる墓のこと



世界に誇れる多彩な魅力を生かした観光・交流を進めるとともに、誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整え、国内外から多くの人が集うまちをつくります。

街なかにおける商業・観光などの魅力を創出し、にぎわいと活気を高めます。地域産業の活力の創出や海外展開、農林水産業の振興を進めるとともに、雇用を創出し、若者の地元就労促進など担い手の確保に取り組むほか、多様で柔軟な働き方を促進し、地域経済を活性化します。

1 地域特性を生かした観光・交流の推進

- ・自然、歴史・文化、食などの魅力活用、体験型観光の推進
- ・地域連携マーケティングの推進、効果的なプロモーションの展開
- ・市民ぐるみのおもてなしの推進



桜島シーカヤック体験

2 スポーツ交流・振興の推進

- ・地元プロスポーツチームとの連携、サッカー等スタジアムの整備
- ・新たなスポーツコンテンツの創出

3 地域産業の活性化

- ・新たな産業やサービス等の創出支援、戦略的な企業誘致・増設等
- ・事業承継^{※1}を支援する体制の充実、商店街等の活性化支援
- ・海外への販路拡大の支援
- ・新たな働き方への取組支援、産学官連携による若者の地元定着の推進

4 中心市街地の活性化

- ・街なかのにぎわいづくり支援、街なかめぐりの仕掛けづくり
- ・宿泊につながるイベント等の充実

5 農林水産業の振興

- ・新規就業への支援、施設整備等への支援
- ・スマート農林水産業^{※2}の推進、遊休農地の活用
- ・農林水産物の販売促進、付加価値の向上



スマート農業の研修会

このようなことに取り組みます！

※1 事業承継：会社の経営権や資産を後継者に引き継ぐこと

※2 スマート農林水産業：ロボット技術やICT等を活用し、省力化・効率化等を実現する新たな農林水産業のこと



健やかな暮らしを支える福祉サービスを充実するとともに、高齢者や障害者をはじめ、市民一人ひとりが、ともに支え合い、生きがいを持って自分らしく生活できる地域づくりを進めます。

健康づくりや感染症対策の強化、医療体制の確保などにより、保健・医療を充実し、健康寿命を延ばします。

交通安全や防犯対策など、生活の安全性を高める取組を進めるとともに、災害などから市民の生命・身体・財産を守るために、危機管理体制や防災力・消防力を強化し、安心して安全に暮らせるまちをつくります。

1 高齢化対策の推進

- ・高齢者の多様な活動への支援
- ・在宅介護の支援
- ・認知症に関する理解の促進や情報提供
- ・住民主体の通いの場づくりの推進
- ・地域密着型サービスの提供、介護基盤の整備の促進



よかよか元気クラブ

2 地域共生社会の実現

- ・地域福祉に関する意識の高揚、生活困窮者に対する相談支援・就労支援
- ・障害者の就労支援の充実、障害に関する理解促進と障害者の社会参加の支援
- ・医療費適正化及び国民健康保険税の収納率向上

3 健康・医療の充実

- ・生活習慣改善に向けた取組の推進
- ・健康管理の支援やがん検診等の推進
- ・市立病院再整備の推進
- ・感染症等の予防対策と拡大防止対策の推進

4 生活の安全性の向上

- ・セーフコミュニティ^{※1}の継続的・効果的な取組の推進
- ・交通安全教室や啓発活動の実施
- ・防犯教室や啓発活動の実施
- ・消費者教育の充実
- ・食品関係施設の監視指導

5 命を守る危機管理・防災力の向上

- ・地域防災計画等の見直し、各種マニュアル等の整備、実践的な訓練の実施
- ・ハザードマップ等による避難行動の理解促進
- ・救急救命体制の強化
- ・河川改修の促進等、急傾斜地の崩壊対策
- ・噴火対策の充実、火山防災を学習する機会の創出、火山防災対策に係る情報発信



関係機関と連携した防災訓練

このようなことに取り組みます！

※1 セーフコミュニティ：統計データなどの分析結果に基づき、身近で起こっている事故やけがを予防する取組のこと



市民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる支援を充実するとともに、未来の力となる子どもたちの明るく健やかな成長を支え、安心して子どもを生ま育てられるまちづくりを進めます。

子どもたちが夢と希望を持って、限りない可能性に挑戦できるよう、学校・家庭・地域・事業者などが連携・協働しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を進めます。

誰もが、生涯にわたって学び続けることができる環境を整えるほか、文化芸術や歴史に親しむことのできる市民文化を創造します。

1 少子化対策・子育て支援の推進

- ・婚活イベントの実施
- ・不妊・不育症に悩む方への支援、子育て世代包括支援センターの充実
- ・保育士等の確保と就労継続支援、保育の受け皿の確保
- ・児童クラブの整備



児童クラブ

2 子どもの健やかな成長への支援

- ・ひとり親家庭への経済的な支援
- ・子どもの貧困対策の推進、子どもの未来を応援する条例の制定
- ・子ども家庭総合支援拠点の設置・運営
- ・児童相談所の設置に向けた取組

3 学校教育の充実

- ・いじめの防止や不登校などへの対応、次世代を切り拓く人材の育成
- ・ICTの利活用の推進、キャリア教育・郷土教育等の充実
- ・学校の安全、防災対策の推進
- ・地域と連携・協働した学校運営の充実
- ・学校トイレの洋式化の推進



学校教育におけるICTの活用

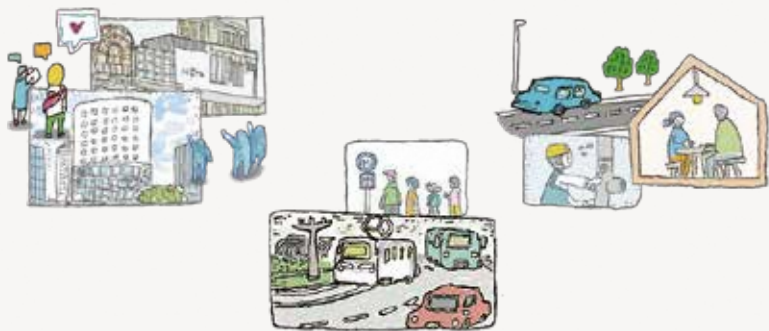
4 生涯学習の充実

- ・家庭の教育力向上講座等の開催、学校支援ボランティアの活用
- ・天文館図書館の活用

5 市民文化の創造

- ・芸術鑑賞事業等の実施、文化芸術活動を活性化するための支援
- ・伝統芸能の保護と活用
- ・世界文化遺産の構成資産の管理保全と活用

このようなことに取り組みます！



コンパクトなまちの実現を目指すとともに、住宅団地の活性化や街なかの整備、良好な景観づくりを進め、機能性の高い都市空間を形成します。

生活道路や上下水道など、市民の暮らしを支える生活基盤について、既にあるインフラなども有効に活用しながら効果的な整備を進め、誰もが暮らしやすいまちをつくります。

広域交通ネットワークの形成や、効率的で持続可能な公共交通体系の構築により、すべての人が使いやすい、快適・便利な交通環境を整えます。

1 機能性の高い都市空間の形成

- ・土地利用ガイドプランや立地適正化計画に基づくまちづくりの推進
- ・若い世代等の居住誘導、団地独自の魅力づくりに向けた取組への支援
- ・回遊空間づくりの推進、土地区画整理の推進
- ・路面電車観光路線の検討
- ・地区の景観特性にふさわしい景観形成の促進



浜町1番街区再開発

2 暮らしやすい生活基盤の構築

- ・安心・安全な道路空間の整備
- ・水道施設の整備、公共下水道（污水）の整備
- ・空き家等の活用、市営住宅敷地等の有効活用
- ・長寿命化計画等に基づく取組の推進、省エネルギー技術の導入

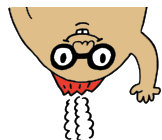
3 市民活動を支える交通環境の充実

- ・高規格幹線道路等の整備促進、在来線の利用促進
- ・コミュニティバス^{※1}の運行等、地域主体による取組等への支援
- ・バリアフリー化の推進（公共交通）
- ・鹿児島市交通事業・船舶事業経営計画に基づく取組の推進



コミュニティバス「あいばす」

このようなことに取り組みます！



重点プロジェクト 1 “地域の稼ぐ力” 向上



地域産業の生産性向上や海外展開等を支援するほか、MICE^{※1}やインバウンド^{※2}への対応の強化など観光消費額を高める取組を推進することにより、“地域の稼ぐ力”を向上させます。



地域経済の活力を高めていくためにも、“稼ぐ力”の向上は重要なことだね。

主な取組

- 地域産業の生産性向上支援
- アジアマーケットへの進出支援
- 農林水産業の収益性向上支援
- MICEの積極的な誘致
- インバウンド対応の強化
- 多様なツーリズムの展開

取組事例



外国人観光客向けの新たな魅力の創出



6次産業化^{※3}による市内産農林水産物の付加価値の向上

※1 MICE：多くの誘客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

※2 インバウンド：外国人が訪れてくる旅行のこと

※3 6次産業化：農林水産業者が生産だけでなく、食品加工や流通・販売等に関わること

重点プロジェクト 2 “ICTで住みよいまち” 推進

新型コロナウイルス感染症対策を一つの契機に、デジタル化の動きがどんどん広がってきているよ。



行政の事務や市民サービスへICTを積極的に活用して、市民の利便性の向上や自治体業務の効率化を図ることにより、市民にとって、もっと便利で住みよいまちになることを目指します。

取組事例



市民サービスへのICT活用



市民へのICTに関する講座の充実

主な取組

- ICTの活用による市民サービスの向上
- ICTリテラシー^{※1}向上の推進
- 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション^{※2}）推進
- ICT関連産業の振興

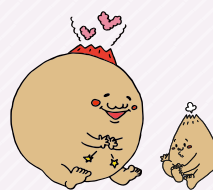
※1 ICTリテラシー：ICTを安心・安全に利用するための知識や活用するための能力のこと

※2 デジタル・トランスフォーメーション：「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という考え方

重点プロジェクト 3 “子どもの未来輝き” 推進



ソフト・ハード両面からの子育て環境の充実のほか、子どもを守るための取組や新しい時代に対応した教育の推進を図り、子どもが夢や希望を持ち輝ける地域社会を目指します。



社会全体で、子どもたちを守り育てるという気持ちを持つことがとても大切だね！

主な取組

- 待機児童ゼロに向けた取組の推進
- 家族と地域における子育て支援の促進
- 「働き方・暮らし方の変革」の促進
- 子どもの未来を応援する取組の推進
- 新しい時代に対応できる子どもの育成

取組事例



妊娠・子育て中の親に寄り添う支援の充実



待機児童ゼロに向けた保育等の充実

地域別計画

市域の各地域・地区別に、まちづくりの基本的方向等を明らかにします。

地域別計画の推進に当たって

- ・地域コミュニティ協議会や町内会をはじめとする多様な主体と連携・協働しながら、地域活動への支援や担い手の育成など、さまざまな取組を通して、住民主体の地域づくりを推進します。



それぞれの地域で、
どんな取組を
行っていくのか
見てみよう！



詳しくはコチラ

まち・ひと・しごと創生基本方針

人口減少問題の克服等に取り組む施策をまとめた第2期「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する上での「基本的な考え方」や「4つの柱」を示します。

基本的な考え方

- ・少子高齢化による急速な人口減少や東京圏への人口流出などにより、地方では、地域社会の担い手の減少、地域経済の縮小など、さまざまな課題が生じています。
- ・本市では、将来にわたって地域の活力を維持し、地方創生に積極的に対応していくため、人口減少に歯止めをかける取組やその影響を軽減する取組をさらに推進します。

まちの活力を維持し
ていくためには、**人口減少**をどう抑えて
いくか、とても大切
な問題だね！



4つの柱～基本目標

稼げるしごとで活力を「つくる」

- ・地域産業の競争力強化や新産業の創出
- ・若い世代・女性・高齢者などの活躍推進など

ひとが集うまちの魅力を「みがく」

- ・本市の個性豊かな資源の磨き上げ
- ・ひとが集うまちなか環境の充実など

結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

- ・若い世代の経済的安定に向けた取組の充実
- ・切れ目のない子育て支援策の充実など

ひと・まちを多彩に「つなぐ」

- ・市民等とともに築く共創のまちづくりの推進
- ・都市間の多彩な交流の推進など

持続可能な開発目標 (SDGs)

各施策と重点プロジェクトを通じて目指す主なゴールを明確にしています。総合計画の各施策などを着実に推進していくことで、世界共通の目標であるSDGsの推進に寄与・貢献していきます。

2030年までに達成すべき17の
ゴールが示されているよ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

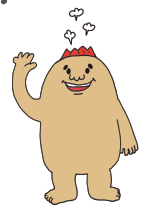


貧困、不平等、水、食料、エネルギー、地球温暖化など、世界が直面しているさまざまな課題を克服し、持続可能なより良い世界を実現することを目指して、世界が一丸となって取り組んでいくための世界共通の目標です。

詳しくはコチラ



それぞれの取組
が、どのゴールと
関わりが深いのか
見てみよう！



SDGsについて詳しく知
りたい方は、「SDGs発見
&アクションBook」を
見てみよう！

詳しくはコチラ



【お問合せ】 鹿児島市 企画財政局 企画部 政策企画課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL: 099-216-1106 FAX: 099-216-1108
Eメール: seisaku-k@city.kagoshima.lg.jp

第六次鹿児島市総合計画の情報は、
市ホームページからもご覧いただけます。
<https://www.city.kagoshima.lg.jp>

第六次鹿児島市総合計画

検索

